



# 学校だより

令和5年12月26日 上田市立第二中学校 No.10

## 「二中の伝統は二中生によって受け継がれる」

「無限～挑戦し飛躍し続ける生徒会～」のスローガンのもと、生徒会長をはじめとする役員の皆さん、3年生の皆さんが引っ張ってきた生徒会も、いよいよ引き継ぎの時を迎えました。この1年間の3年生が引っ張る姿には、挑戦し続けよう、飛躍、成長し続けようという気持ちが至る所で伝わってきました。



無限に込めた「限界を定めず、みんなで高め合い、学校や生活を新しく作り上げていきたい」という思いは、コロナ禍で止まっていたものを再び動かす、難しい役回りであったと思います。役員がそれぞれの立場で二中生のことを思い、実践してくれたことに、心から感謝します。

時には、挑戦しようとして試みてもうまくいかずに苦しいときもあったと思いますが、結果よりも、ことを動かそうとしたこと自体が、私は本当に素敵なことだと思っています。印象的だったのは、会長の公約でもあったSDGsとかかわらせた企画です。全校の生徒と共に、気持ちの方向性がそろった素晴らしい活動でした。SDGs 俳句、見事でしたね。

長い歴史のある二中の生徒会。これまでどのようにつながってきているのだろうと、これまでの生徒会誌や記念誌等を基に少したどってみました。その中で心に留まった言葉がありました。その言葉は『二中の伝統は二中生によって受け継がれる』。この伝統っていったいどんなことなんだろうと考えたとき、ある3年生が書いた生活ノート「紡ぐ」を思い出しました。紹介します。

「役員としての最後の生徒会がありました。任命式から1年が経ったと考えると、とても短く感じました。今まで二中祭のことや当番活動のことなど、委員会のことを一つも考えない日はありませんでした。最後まで気を抜かず生徒総会の準備もしっかりしていきたいです。」

きっとここにいる役員全員がこの3年生と同じ気持ちで取り組んでくれたのではないかと思います。二中のために、二中の全校の生徒のために、自分の役割を一生懸命果たしてくれたこの思いに、胸が熱くなりました。このように心を込めて取り組むことは、いわゆる「面倒なこと」かもしれません。しかし、その「面倒なこと」の先にある姿に、心を躍らせ、目指そうとするこの姿こそが、明倫の心であり、人としての生き様のように感じます。

『二中の伝統は、二中生によって受け継がれる』、この、受け継がれるべきは、企画内容とか行事内容ではなく、あなたたちの姿そのものであると思います。さあ、1、2年生は3か月後、その姿を受け継げるでしょうか。このことを、全校の皆さんには、忘れないでいてほしいと願っています。1月からは新生徒会長をはじめ2年生を先頭に、皆さんの生き様が誇れる生徒会活動、誇れる二中をつくっていかれることを、期待しています。

(生徒総会 校長講話)

12月の様子は、二中ホームページから抜粋。日々更新されるホームページもご覧ください。

## ☆12/4「担任の先生と」

教育相談が始まりました。放課後、担任の先生と各会場で話をします。どんなことを話しているのか…。悩んだり困ったりしていることはもちろん、明日からの自分についても、たくさん話してほしいなと思います。



## ☆12/11「像」

真田神社から、市内全小中学校に寄贈された青年真田幸村（信繁）公之ミニチュア像が、二中にも届きました。桜門ホールに展示しました。ご来校の際には、ぜひご覧ください。



## ☆12/14「金星」

研究授業がありました。金星の見える方角や時刻、見かけの形や大きさの変化について、太陽、金星、地球の位置関係をモデルで再現し、そのモデルを観察することを通して解明していく生徒たち。モデルを動かしたりグループの仲間と意見交換したりしながら追究する生徒の姿が印象的でした。



## 連絡

### < 今後の予定 >

- 1月 9日（火）3学期始業式
- 10日（水）3年総合テスト
- 15日（月）学校へ行こう週間 ～19（金） 学年費引落日
- 23日（火）中学校説明会
- 25日（木）前期選抜志願受付 ～29（月）
- 2月 1日（木）前期選抜
- 5日（月）授業参観日⑤
- 6日（火）給食費引落日
- 8日（木）3学期期末テスト①
- 9日（金）3学期期末テスト② 前期選抜発表



↑二中ホームページ  
ご覧ください

### ☆今年度のSC来校日（相談希望は担任または教頭まで）

- ◇1月11日（木）      ◇1月22日（月）
- ◇2月15日（木）      ◇2月29日（木）      ◇3月7日（木）

### 保護者の皆様

2023年、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。2024年も、引き続きよろしくお願いたします。

【文責：教頭 高寺 威】